

## 「塗って耐震」を実現 住まいながらできる耐震改修

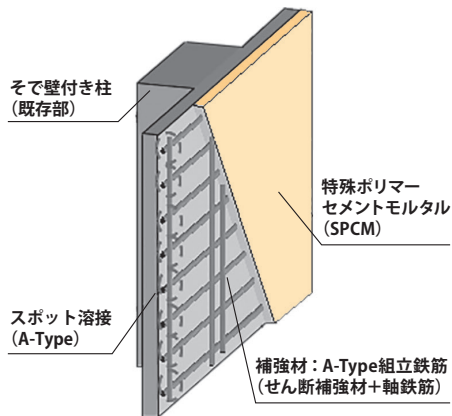
「サイド・ポ・スト工法」は、そで壁と柱を、特殊ポリマーセメントモルタル（PCM）と特殊鉄筋で一体化させて補強し、耐震性能を向上させる工法。住まいながらの施工が可能で、他の耐震工法と異なり施工前・施工後の外観がほとんど変わらないという利点がある。（一財）日本建築防災協会より技術評価を取得している（建防災発第16022号）。

### 【特長】

- ①壁の外側に補強工事をするため、作業員は室内に入ることがない。
- ②左官工が塗り込み作業を行うので、振動・騒音・粉塵は非常に少ない。
- ③電気・ガス・水道およびエアコンなどの設備は通常通り使用可能。
- ④補強した壁は2～5cm程度出るが、外観は工事前とほとんど変わらない。
- ⑤施工により住みにくくなったり、ベランダへの出入りがしにくくなることはない。
- ⑥計算に基づく必要最小限の住戸を補強することで、マンション全体の地震対策につながる。

### ■サイド・ポ・スト工法の活用が最適な条件

- ①地上6階建以下のRC構造
- ②構造耐力が少し足りないRC構造（IS値0.45以上）
- ③RC構造の柱にそで壁と直交する壁がある構造



工法概念図



マンション内廊下への施工例。窓や玄関ドアの周りが施工前より少し出ていることが確認できるが、外観は施工後でもほとんど変わらない。

### ■施工状況



鉄筋パネル建込み

タイプI (プライマー) 吹き付け

タイプII (ポリマーセメントモルタル) 塗り込み